



県民だより HYOGO

4

APRIL

●人口:539万1,667人 ●世帯数:242万9,172世帯 ●面積:8,400.94km² (2023年2月1日現在)



躍動する兵庫、 新時代への 挑戦

～2023(令和5)年度当初予算を策定～

※過去に「県民だより ひょうご」に掲載した写真を中心に構成しています



新型コロナウイルス感染症の関連情報は7面へ

2023(令和5)年度予算「3つの方針」

本年度予算は3つの方針で編成しました。
「躍動する兵庫、新時代への挑戦」をスローガンに、さまざまな事業に取り組みます。

I

新しい時代の力を育む

兵庫の持続的な発展に向け、子どもたちの未来を切り拓く力を育むとともに、生き生きと働ける場の創出を図ります。

● 教育への投資の強化

県立学校の空調整備やトイレ改修等の環境充実事業、備品等の整備による部活動等応援事業、新たな特別支援学校の整備、国際教育の充実に向けた検討などに取り組みます。



国際的視野を育む教育の充実を目指します。

● 奨学金返済支援制度の拡充

最大5年間、県と中小企業等が連携して従業員の奨学金返済を支援し、若手社員の負担軽減と中小企業の人材確保につなげます。

現行制度		
県 1/3	本人 1/3	企業 1/3

今回拡充		
県 2/3		企業 1/3

※年間返済額が18万円以下の場合

その他

- 次世代成長産業の立地支援強化
- SDGsの取り組み加速
- スタートアップ支援の強化
- 環境創造型農業の推進 など

II

人の流れを生み出す

インバウンドの回復を見据え、“本物志向の観光”“持続可能な観光地域”“何度でも訪れたい地”を目指した取り組みを展開します。

● 兵庫テロワール旅誘客の強化

7月から始まる「兵庫デスティネーションキャンペーン(DC)」では、県内の食や文化、産業のルーツを訪ねる「テロワール旅」を軸に誘客を図ります。



DCではJRの人気観光列車を使った臨時便を運行予定。

● ひょうごフィールドパビリオンの展開

2025年大阪・関西万博を機に、県全体をパビリオン(展示館)に見立てSDGsを体現するコンテンツを充実させるとともに、国内外にプロモーションを展開します。



但馬牛は兵庫が誇るコンテンツの一つ(写真は県立但馬牧場公園内の博物館)。

その他

- 大阪湾ベイエリアの活性化
- 移住推進プロジェクトの展開
- スポーツ・芸術文化の振興
- 高規格道路ネットワークの整備 など

III

一人一人に寄り添う

「安全安心が県民生活を支える基盤」という考えの下、支援が行き届きにくい人たちへの対応に一層力を入れます。

● 不妊・不育症治療支援の充実

不妊治療ペア検査助成事業や不育症治療支援事業では、対象者の所得要件等を撤廃します。



今年1月、齋藤知事は神戸市内の不妊治療医療機関を視察。

● ユニバーサルツーリズムの推進

ユニバーサルツーリズムを推進する条例を全国で初めて制定。ソフト・ハード両面で宿泊施設を支援し、受け入れ体制の充実を図ります。



さまざまな人が気兼ねなく旅行を楽しめる環境整備に努めます。

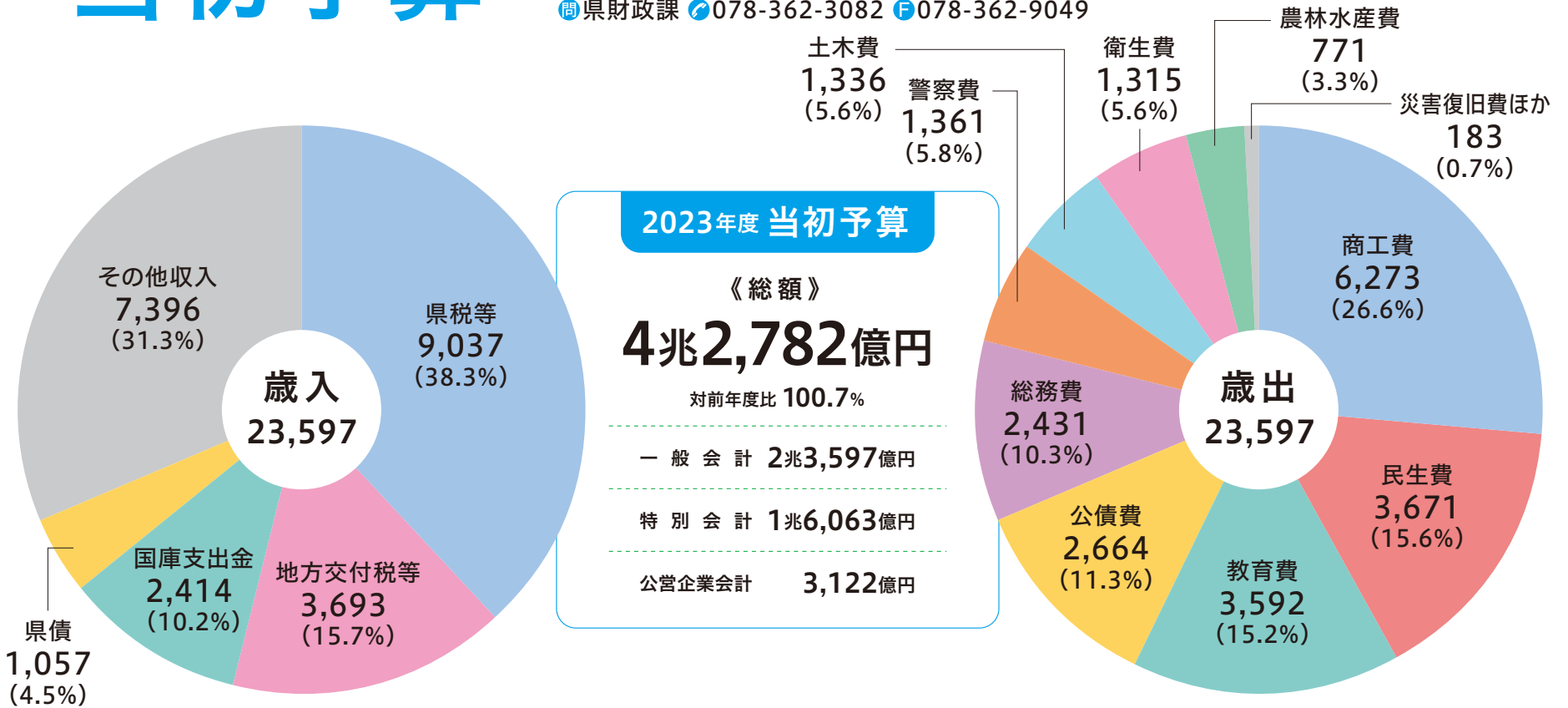
その他

- 社会的養護経験者(ケアリーバー)の自立支援
- こども家庭センター一時保護所の新規整備
- 働き盛り世代の自殺対策
- 犯罪被害者等支援の強化
- 介護体制の充実 など

当初予算

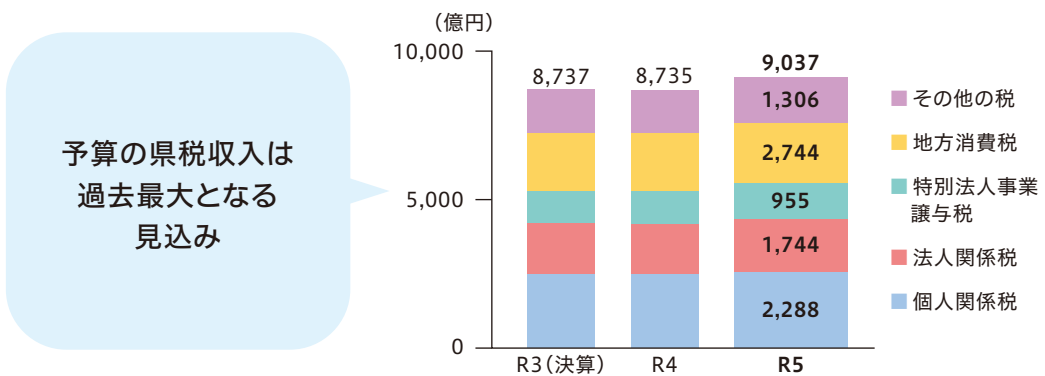
SDGs、脱炭素化、2025年大阪・関西万博(以下万博)などの動きを兵庫の原動力とした、新時代へ果敢に挑戦する予算を編成し、「躍動する兵庫」に向けた施策を推進します。

問 県財政課 ☎078-362-3082 📠078-362-9049



歳入では、企業業績の回復が続き、法人関係税などの増加により県税収入全体では当初予算で過去最大となる見込みです。臨時財政対策債を合わせた実質的な地方交付税は減少するものの、一般財源総額では前年度当初予算を上回る見込みです。

歳出では、社会保障関係費、万博関連事業や投資補助事業(阪神南特別支援学校狭隘化対策等)の増加を見込む一方、新型コロナウイルス感染症臨時交付金事業の縮小や新年度から始まる定年引き上げによる退職手当の減少などにより、前年度予算を下回りました。



万博会場関西パビリオン(イメージ)。関西パビリオン内の「兵庫棟(仮称)」では、兵庫に行ってみたくなる展示を設計・制作します。画像提供:関西広域連合

世界の注目を集める2025年大阪・関西万博を契機に関連事業を展開

用語説明

各会計	【一般会計】福祉、教育、道路・公園の整備など、県の基本的な事業を行う会計。県税や地方交付税などによって賄われます。
	【特別会計】特定の収入で特定の事業を行う会計。国民健康保険や県営住宅など、14会計あります。
	【公営企業会計】主に利用者の皆さんが支払う料金収入で事業を行う会計。病院や流域下水道など、8会計あります。
歳入	【県税等】県民税や事業税など、県に納められる税金
	【地方交付税】地方公共団体が一定の行政サービスを提供できるよう、一定の合理的な基準によって国が再配分するお金
	【国庫支出金】特定の事業の財源として国が交付するお金
	【県債】公共施設や道路の整備などの資金を調達するため、国や銀行などから長期にわたり借り入れるお金
	【その他収入】県税の延滞金や預金利子、県からの貸付金の元利償還金など、他の収入科目に含まれない収入
歳出	【商工費】中小企業の育成や企業誘致など、商業や工業の振興に使うお金
	【民生費】社会福祉、児童福祉に関わる給付金や施設整備、運営などに使うお金
	【教育費】県立学校や図書館の運営管理や整備などに使うお金
	【公債費】国や銀行などから借りた県債(借金)の返済に使うお金
	【総務費】財産管理や税務など県の運営全般に使うお金

1. 持続的に発展する兵庫経済の構築

兵庫の持続的な発展のため、次世代成長産業の立地促進や育成、スタートアップ支援の強化、若者の県内就職の促進などに取り組み、兵庫を舞台に生き生きと働ける環境を広げます。また、県内企業の脱炭素化支援、持続可能な農林水産業の実現に向けた取り組みを進めます。

空飛ぶクルマの社会実装に向けた取り組み

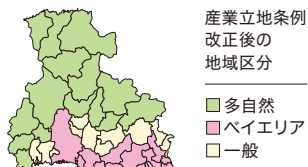
2025年大阪・関西万博の開催に向け、飛行ルートや利用シーンの検討、離着陸候補地の抽出・選定、民間による事業開発への支援等を進めます。



開発中の空飛ぶクルマのイメージ。

©SkyDrive

産業立地の促進



産業立地条例改正後の地域区分

■多自然
■バイエリア
□一般

産業立地条例を改正し、全県を対象に成長産業(新エネルギー、航空、半導体など)への設備補助等の支援を拡充するとともに、中小企業の補助要件を大幅に緩和します。また、多自然地域やバイエリア地域内への立地支援を強化します。

県内企業の脱炭素化支援

県内中小企業の敷地等に太陽光発電設備等を整備し、電力供給を行うPPA事業者を支援。また、生産・製造過程等でのCO₂排出量を見える化するカーボンフットプリント(CFP)を活用した取り組みを促進し、CFPを用いた商品選択等の普及啓発を実施します。



PPA方式により県広域防災センター(三木市)に導入した太陽光発電設備。

ひょうごTECHイノベーションプロジェクトの実施

県内自治体が抱える課題と県内外のスタートアップ等をマッチング。選定事業者の実証実験に対する補助や成長支援等を行います。



プロジェクトの一例。シカのふん被害に悩む学校等公共施設において、超音波機でシカを安全に撃退する取り組み。



ひょうご産業SDGs推進宣言・認証事業の展開

SDGsの達成に向け取り組む県内中小企業を募り評価・認証を行い、県信用保証協会の保証料軽減などインセンティブを付与することで、取り組みの裾野拡大とレベルアップを図ります。

奨学金返済支援制度の拡充

県内中小企業等と連携し、奨学金返済支援制度を拡充。就職後5年間本人負担をゼロにします(年間返済額18万円まで)。

有機農業をはじめとする環境創造型農業の推進

有識者会議を設置し、地球温暖化対策への貢献など新たな視点を加えた施策展開を検討します。また、化学肥料・農薬の使用量を減らす技術の普及や有機農業モデル産地の育成により、農業での環境負荷低減を進めます。



県が進めてきた「コウノトリ育む農法」をはじめとする先導的な取り組みの知見も生かしながら、具体的方策を検討します。



3. 温かさと希望に満ちた社会づくり

子どもたちが充実した学びができる環境づくりに取り組むとともに、結婚・妊娠・出産・子育て環境の充実や特別な支援を必要とする方々への対応など、誰もが安心して生き生きと暮らせる兵庫づくりを進めます。

教育への投資の強化

選択教室や体育館の空調整備等、県立学校の環境を充実させます。また、東播磨地域の特別支援学校の狭隘化対策として、建て替え、増築や新設校の設置を行います。さらに、国際的視野を育む教育を強化するための検討会の設置や私立高等学校等生徒の授業料軽減の支援拡充も行います。



2028年度までの6年間で約300億円を集中投資し、環境整備を進めます。

ユニバーサルツーリズムの推進

さまざまな人が気兼ねなく旅行を楽しめるユニバーサルツーリズム(UT)を推進。UTコンシェルジュなどの人材育成や、宿泊施設に対するソフト・ハード両面からの支援等を行います。



自然体験等障害者の特性に応じたテーマ別のツアーを展開します。

不妊・不育症治療支援の充実

子どもを望む人が安心して妊娠・出産できる社会の実現に向け、不妊治療ペア検査費助成や、不育症の検査費・治療費助成の所得制限を撤廃します。

児童養護施設への支援

社会的養護経験者(ケアリーパー)の実態調査を行い今後の対策につなげます。また、退所後児童向けの相談室等を設けて自立支援を行う事業所に対し、相談室や交流スペースの整備を支援します。

4. 安全安心

地域医療・介護体制の充実、地域の安全安心な暮らしを支える体制強化、地域防災力の向上などに取り組み、県民の安全安心を支えます。

地域防災力の向上

物資搬送分野でも研究開発が進むドローンを活用し、災害発生時の速やかな被災者支援や物資搬送等の実証実験を実施します。また、県内の防災関連施設と観光資源を組み合わせたモニターツアー等を実施します。



ドローンによる物資搬送のイメージ。

2. 魅力あふれる地域・交流圏の形成

2025年大阪・関西万博を機に人・モノ・投資を広く呼び込むため、兵庫の魅力を世界に向けて発信します。移住施策の強化、スポーツ・芸術文化の振興や社会基盤の充実・強化にも取り組みます。

ひょうごフィールドパビリオンの展開

県全体をパビリオン(展示館)に見立て、地域のSDGsを体現する活動を体験できるプログラムを認定。旅行客の受け入れ環境整備やガイド・通訳等の人材育成研修等を行うほか、国内外でプロモーションを実施します。



海外向けのPR動画を制作し、外国人旅行者の誘客を行います。

大阪湾ベイエリアの活性化

クルージングMICEの支援や、岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験、淡路交流の翼港の浮棧橋の改良等を行います。



船上で開催される会議等(クルージングMICE)を支援します。

社会基盤の充実・強化



3月21日に開通した東播磨道片山地区(下村高架橋南側)。

地域の発展の基盤となる高規格道路ネットワークの整備を着実に進めます。また、市町・JR等と連携し、JRローカル線の維持・活性化に向け、利用促進や駅周辺の活性化に取り組みます。



パラスポーツを体験できる出前講座等を実施します。

多様化するスポーツの振興

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会の開催を機に、障害やパラスポーツの理解促進に取り組みます。スポーツ行政の所管を知事部局に移し、観光や地域振興等の施策と連携を深め、スポーツの持つ力を最大限発揮させていきます。

ひょうごプレミアム芸術デーの実施

期間中、県立の芸術文化施設に加え、一部の市町や民間の施設にも対象を広げ、無料開放します。また、障害のある人や子育て中の人なども楽しめる取り組みを新たに実施します。

期間:7月11日(金)~17日(金)



ひょうごプレミアム芸術デーでは、本年度も多彩なイベントを行います。

兵庫デスティネーションキャンペーンの展開



観光列車「兵庫テロワール旅号」が県内を駆け抜けます。

JR各社とタイアップし、「兵庫テロワール旅」をテーマに、地域に根ざした食・文化・歴史を“知る”・“味わう”・“感じる”旅のスタイルを提案します。

期間:7月1日(土)~9月30日(土)

策

県政において特に重要な施策を「5つの柱」とし、さまざまな事業に取り組みます。

兵庫県 令和5年度予算

他の取り組みなど詳しくはこちら



measures

基盤の強化

医療・介護体制の充実



立位保持をサポートする介護ロボット。

産科医療体制に関する研究会を設置するとともに、介護の質の向上や働きたい職場づくりを図るため、ワンストップ型相談窓口

を創設します。また、県立病院でWi-Fi環境の整備を進めます。

利用者の健康状態や動作をベッドのセンサーで感知し見守る介護ロボット。異常があればモニターを通して状況を伝えます。

地域の安全安心を支える体制の強化

犯罪被害者等の総合的なサポートセンターを立ち上げ、相談窓口の他、支援体制を強化します。また、ネット上の誹謗中傷等に対応するため、県弁護士会等と連携したサポートチームを設置します。県警では、ストーカー被害の相談対応強化として通信機能付きGPS端末の貸与なども行います。

5. 県政の推進基盤の構築

企業や大学等との連携を充実させ、対話を重ねながら、時代の変化やニーズに合った施策推進を図ります。

情報発信力の強化

県内への観光誘客等につなげるため、公民連携型アンテナショップの展開など、兵庫ゆかりの人・企業の参画を得るプラットフォームをつくり、首都圏での情報発信等を強化します。



まねき食品(姫路市)とマイスター工房八千代(多可町)がコラボレーションし、今年1月にオープンした「まねきマイスター工房八千代銀座」。看板商品は天船巻き寿司。

豊岡靴の旗艦店として2018年にオープンした「豊岡靴KITTE丸の内店」。豊岡靴初の直営店。



ファンドレイジング(寄付獲得)の展開

「寄付を通じて地域社会に貢献したい」という思いと課題解決を図るプロジェクトを結び付けるため、本県ゆかりの企業等への訪問活動や県内経済団体へのトッププロモーションなどを展開します。

「ひょうごSDGs Hub」による兵庫版SDGsの推進

公民連携組織「ひょうごSDGs Hub」会員の取り組みの発信や会員同士の連携・交流を促進する専用サイトを開設します。また、「兵庫県SDGs WEEK」などの啓発事業を実施します。

ホームページ

県ホームページ

各種支援策やイベント、統計、入札・契約などの情報を掲載する総合サイトです。



ひょうごチャンネル

兵庫の魅力や取り組みを動画で紹介する動画まとめサイト。記事の記者会見なども視聴できます。



ヒョーゴアーカイブス

県が保管する映像や写真を公開し、兵庫の過去と現在の姿を未来に伝えていくウェブサイトです。



U5H(兵庫五国連邦)

兵庫五国それぞれの個性や違いを切り口に、地域の魅力を再発見するプロジェクトの公式サイトです。



SNS

Twitter「兵庫県広報」

防災情報やイベント、観光案内を中心に、役立つ情報をタイムリーに発信しています。



Facebook「はばタンなび」

県マスコットキャラクターの「はばタン」が、観光やイベント情報など兵庫の魅力を紹介しています。



Instagram「兵庫県広報」

県の取り組みなどを、写真とともにさまざまな視点から発信しています。



広報紙

広報紙「県民だより ひょうご」

県政やイベントの情報はじめ、各地の旬な話題を紹介しています。毎月1日発行。新聞折り込みのほか、県民局、市役所、町役場等でも入手できます。また、県ホームページでもダウンロードでき、自治体広報アプリ「マチイロ」、デジタルブック「HYOGO ebooks」「マイ広報紙」などの電子書籍にも掲載しています。

点字広報紙「広報ひょうご」・声の広報「愛の小箱」

目の見えない・見えにくい人に、県民だよりの内容を点字または音声収録したCDで毎月お届けしています。

配布を希望する県内在住で見えない・見えにくい人は、県視覚障害者福祉協会点字出版担当☎078-262-9201へ

テレビ

サンテレビ「ひょうご発信！」

県や地域の取り組み、観光スポット、特産品など県の魅力を、バラエティー豊かなりポーターが楽しくテンポよく紹介する県民情報番組です。(毎週日曜8時30分～55分)

ラジオ

ラジオ関西「こちら知事室！」

知事がゲスト出演して県政の話題や自らの思いを語るトークコーナーです。(毎月第2木曜「三上公也の朝は恋人」内の25分(9時3分～28分の間))

ラジオ関西「GO!HYOGO！」

最新の県政トピックスや各地の行事・イベントなど、暮らしに役立つ情報や兵庫の魅力を発信しています。(毎週火曜15時15分～25分)

「光都プラザ」テナント大募集

光都プラザで出店しませんか？
初めて出店する方には初期費用を助成し、新規出店を応援しています。

助成内容 貸付料の減免、改装費の助成
支援限度額 計100万円(改装費の上限50万円)

詳しくはお問い合わせください。

兵庫県企業庁播磨科学公園都市まちづくり事務所
☎0791-58-1115 光都プラザ 所在地/上郡町

播磨科学公園都市・光都21

建築条件付宅地分譲

豊かな土地で、新たな暮らしを。
広い土地、充実した教育環境、快適なテレワーク環境。光都21ではそんな新たな生活を応援します。

販売価格 950.4万円～1,423.3万円
宅地面積 211.67㎡～400.82㎡

助成制度を多数、ご用意しています。詳しくはお問い合わせください。※①②併用不可

若年世帯新居購入支援拡充制度①	さらに最大	若年世帯新居購入奨励事業	テレワーク応援住宅購入支援制度②
400万円割引		150万円交付 (2024年3月31日まで)	400万円割引 (2024年3月31日まで)

兵庫県企業庁企業誘致課 ☎078-362-9390

コート21 ぽっとタウン光都

公式Instagramのアカウントはこちら

Check! マンスリー・インフォ

この情報は3月15日現在のものです。新型コロナウイルス感染症の状況により内容等が変更になる場合があります。最新情報は事前に⑧へ。

4	月	火	水	木	金	土	日
APRIL	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

凡例 ①対象 ②日時・期間 ③場所 ④定員 ⑤料金 ⑥助成額・補助額 ⑦申し込み方法 ⑧郵送 ⑨電話 ⑩ファクス ⑪Eメール ⑫申し込み ⑬問い合わせ ⑭住所 ⑮電話 ⑯ファクス

詳しくはホームページに掲載しています



催し

未来へつなぐ日本画展 ～SDGsの17色を使った 日本画を描く～



「和」作 安恵隆司

県文化賞を受賞した、兵庫県日本画家連盟会員の作品を展示します。無料。
⑤5月12日(金)まで9:00～17:00(土曜、日曜、祝休日は休館)
⑥県公館(神戸市中央区)
⑦①会場について:県儀典室②展示内容について:県広報広聴課
⑧①078-362-3823
⑧②078-362-3019
⑧③078-362-4468
⑧④078-362-3903

県公館

募集

2023(令和5)年 トルコ地震兵庫県義援金

2月6日にトルコ共和国で大規模な地震が発生し、甚大な被害をもたらしたことを受け、県や県議会、地方4団体が中心となり、民間団体等の協力を得て義援金を募集しています。

◆受け付け方法=①県内5金融機関での口座振り込み
②現金持参:県庁1号館～3号館の1階ロビー、地方機関、県内市町庁舎等に募金箱を設置

③同義援金募集委員会事務局(県防災支援課内)
④078-362-9870
⑤078-362-4459
⑥ひょうごトルコ支援

2023年度自衛官等

自衛官候補生や航空学生など。申し込み方法、試験日は種目によって異なるため要問い合わせ。

④自衛隊兵庫地方協力本部
⑤078-261-8600
⑥078-261-9781

自衛隊兵庫地方協力本部

県営住宅の入居者

申込書は4月17日(日)から市・区役所、町役場、各県営住宅管理事務所などで配布。高齢者以外の人も単身入居できるようにしました。

④4月21日(金)～27日(木)(消印有効)に所定の申込書を⑤で各管理事務所へ
⑥県住宅供給公社
⑦078-232-9585
⑧078-232-9581

兵庫県住宅供給公社

お知らせ

自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務に

道路交通法の改正により、4月1日(日)から大人も子ども

も関係なく全ての自転車利用者に対して乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されます。業務中の自転車乗車時も忘れないようにしましょう。

④県生活安全課
⑤078-362-3879
⑥078-362-4022

兵庫県 ヘルメット 努力義務化

来年4月1日(日)から相続登記が義務化されます

所有者不明土地問題や空き家空き地問題の解消に向け、2024年4月1日(日)から、

相続登記が義務化されます。相続で不動産取得を知った日から3年以内に正当な理由がなく相続登記を申請しなければ、10万円以下の過料が科される可能性があります。

④神戸地方方法務局
⑤078-392-1821
⑥078-392-2070

法務省 相続登記義務化

戦没者遺骨の身元特定へDNA鑑定申請を受け付け中

厚生労働省では、先の大戦によって海外や沖縄、硫黄

島で亡くなられた戦没者の遺骨の身元を特定して遺族に返還するため、DNA鑑定を実施しています。鑑定料は国が全額負担します。

④対象地域の戦没者の配偶者、子、父母、孫、兄弟姉妹など※対象地域はホームページで確認してください

⑤⑥所定の申請書を⑦⑧⑨で厚生労働省戦没者遺骨鑑定推進室へ

⑩〒100-8916東京都千代田区霞が関1-2-2
⑪03-3595-2219
⑫03-3595-2229

戦没者遺骨DNA鑑定



「〇〇する兵庫、新時代への挑戦」をスローガンに、さまざまな施策を展開します。〇に入る言葉は何でしょう。(ヒントは2～3面)

A 運動 B 活動 C 躍動

今月のプレゼント

①フィナンシェセット(5個入り) … 3人

神戸市長田区の障害福祉サービス事業所「Withくれよん」が製造。紅茶、レモン、プレーン、ショコラ、抹茶の5種類の詰め合わせです。5個入り1,000円。インターネットでも販売しています。[+NUKUMORI](#)

②但馬牛すじのご飯のお供セット … 5人

独自の調理法で但馬牛のすじ肉をおいしく仕上げた牛すじ煮込み(250g)と牛すじ飯の具(140g)のセット。五つ星ひょうご選定商品です。2,000円。[但馬フーズラボ](#)

プレゼントの応募先はこちら

クイズの答え、希望するプレゼント(番号と名前)、住所、氏名、電話番号、今月号の感想を4月14日(金)(消印有効)までに、
④〒650-8567(住所不要) ⑤078-362-3903
⑥dayori@koho.pref.hyogo.lg.jpのいずれかで
県広報広聴課「県民だよりプレゼントクイズ」係へ。



※当選発表は発送をもって代えさせていただきます。また、感想は紙面下の「読者の声」コーナーで紹介する場合があります。提供いただく個人情報は今後の紙面作りの参考にするほか、プレゼントの送付とそれに係る業務に利用します(①はNPO法人兵庫セルブセンター、②は但馬フーズラボから直接発送します)

こちらからもプレゼントに応募できます



県民の皆さんへの協力をお願い

新型コロナウイルス感染症は5月8日(日)から季節性インフルエンザ並みの5類感染症となりますが、引き続き、基本的な感染対策やワクチン接種等にご協力をお願いします。マスクの着用は個人の判断が基本となります。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう配慮してください。(県新型コロナウイルス感染症対策本部)

感染を広げないための取り組み

- 場面に応じた適切なマスク着用、手洗いや手指消毒
- 効果的な換気
- 3密(密閉空間、密集場所、密接場面)の回避

*この情報は3月15日時点のものです。最新の情報は県ホームページで確認してください

着用を求める場面

- ▶症状がある、または新型コロナ検査陽性、同居家族に陽性者がいる場合に、通院等でやむを得ず外出するとき
- ▶事業者が感染対策上または業務上の理由等により、利用者・従業員にマスクの着用を求めるとき
(例: 県立病院では従来通り来院者にもマスク着用を要請)

着用が推奨される場面

- ▶受診時や医療機関、高齢者施設などを訪問するとき
- ▶混雑した電車やバスに乗るとき

着用が効果的な場面

- ▶重症化リスクの高い人が感染拡大時に混雑した場所に行くとき